

令和6年度施設自己評価表

あさしがおかアンジュこども園

		とてもそう思う		普通		そうではない		正規	非常勤	全職員
1	それぞれのこどもの成長・発達を理解し 保育のねらいを定めて活動を行っている	5	4	3	2	1	3.6	3.9	3.8	
2	こどもの人権を尊重した、言葉がけや態度 をとっている	5	4	3	2	1	3.9	3.8	3.9	
3	他の職員と連携し、協力し合いながら業務を 行っている	5	4	3	2	1	3.6	4.6	4.1	
4	安全でこどもが過ごしやすい、室内外の 環境を整えている (給食は給食室)	5	4	3	2	1	3.5	3.6	3.6	
5	連絡ツールでは、保護者がわかりやすいよう に伝えているか	5	4	3	2	1	3.6	4.6	4.1	
6	こどもの気づきや発見に共感している	5	4	3	2	1	3.5	4	3.8	
7	行事の準備や後片付けに積極的に参加して いる	5	4	3	2	1	3.5	4.1	3.8	
8	自己研鑽に努め、研修等で得た知識を 実践したり、施設で広めたりしている	5	4	3	2	1	3.4	3.4	3.4	
9	保育の仕事は楽しいと思う (給食)	5	4	3	2	1	4.3	4.0	4.2	
10	今年の保育の自己目標の達成度は？ (給食)	%						68%	75%	71.5%

令和6年度園での重点的な取り組み

- ① 子どもの人権と主体性を尊重する保育
- ② 行事や業務の見直しを行い、効率化を図る(持ち帰り業務の禁止)
- ③ リーダー職員の保護者支援教育

総評

- ・個々の成長・発達を理解し、インクルーシブ保育の観点からどのラインで活動を展開したなら良いのか、また、集団生活に配慮が必要な園児がクラスの中で増えてきており、特に幼児クラスでは課題設定が難しかった。
- ・昨年同様、正担任の職員は研修受講機会が少なかった。
- ・ICTによる連絡帳など簡易になったが、文字で思いを正確に伝えることや園児の様子を共有する難しさがあった。可能な限り、直接会話を心がけた。
- ・ノンコンタクトタイムにより、カリキュラムの反省や行事準備を行うことができた。また、有給消化率も85%となった。(次年度へ繰り越すために有休残がある)
- ・保護者支援より先に、インクルーシブ保育・小学校接続に向けてのクラス運営・BCPについての学びの場を設けた。